



神奈川病院だより

基本理念：私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供をいたします。



重心病棟 グリーンカーテン

第29号 目次

- 夏休みアトピー性皮膚炎教育入院を終えて2
 - 標題 神奈川・秦野 ICLSコース 研修3
 - 地域医療機関紹介～さだもとクリニック～4
 - 8月24日(月) 第5回地域医療連携懇話会を開催4
 - 第8回市民公開講座が開催されました5
 - ICTよりのお知らせ6
 - 重心病棟花火大会6
 - 「重症心身障害児・者病棟って?」/ボランティア募集7
 - 各科診療担当医表/医療者が指導する生き生き健康教室.....8
- 看護師復職支援研修のお知らせ

平成21年10月発行
神奈川病院 広報誌



独立行政法人 国立病院機構
神奈川病院

〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1
電話：0463-81-1771
FAX：0463-82-7533

夏休みアトピー性皮膚炎 教育入院を終えて

小児科医長 渡辺 博子

本年は小学校2年生を最年少に小学校6年生まで10名のアトピー性皮膚炎のお子さんたちに参加していただき、7月27日から8月7日までの日程で行いました。入院当日から医師、看護師とともに朝、昼、晩3回のスキンケアを実施しました。スキンケアでは、まず石鹸を泡だて、その泡で全身を洗い、流して、皮膚状態に合わせた外用を体の部位ごとに行います。なかなか泡が立てられないお子さん、顔を洗うのが苦手で泣きそうになってしまうお子さんなどなど、みんなそれぞれに苦労しながらもがんばってくれて、退院日近くには「先生！かゆくなくなってきたよ」「すべすべでしよう！」など、嬉しい言葉が聞かれるようになりました。自宅に戻ってからもぜひこの調子でスキンケアを続けて、良い状態の皮膚を保ってほしいと、スタッフ一同願っています。



治療のためのスキンケア教育が第1の目標ですが、せっかくの夏休み、楽しかった思い出の一つにしてほしいと保育士を始め、院内職員一同さまざまな行事を計画して、協力していただきました。養護学校のプールを借りてのスイミング、体力作り、花火大会、きもだめし、スイカ割り、かき氷、野菜の収穫体験などなど、行事を通じて、子供たち同士のきずなが深まり、普段外来通院ではみえなかった子供たちの素顔・笑顔を目にすることができました。野菜の収穫体験は放射線科職員の協力を得て、今年初めて行いま



した。野菜は苦手と二の足を踏んでいたお子さんもありましたが、いざ収穫が始まると、もぎたてのトマトをほおばったり、お母さんにお土産にと太いゴーヤやなす、キュウリなどを競って収穫して、持ち帰っていました。自宅で何の料理になったかを詳しく書いて手紙を書いてくれたお子さんもいて、スタッフ一同嬉しく読ませていただきました。



入院当初は寂しくて、面会に来られるお母さん、お父さんの手をなかなか離せないお子さんもありましたが、日がたつにつれ、「おかあさん またね。」と元気に手を振って、プレイルームにもどってゆく姿が見られるようになりました。低学年のお子さんが多い中、ご両親もかなり心配しながら、入院生活を見守って下さったことと思います。ありがとうございました。自宅にもどられたあとのお子さんたちの姿に、少し成長を感じていただけたらなと、期待しています。

神奈川・秦野ICLSコース研修

ICLSコース標題

ICLSコースに参加して

1病棟副看護師長 山内 照美

7月26日に川崎市立川崎病院救命救急センターの医師他、インストラクターを迎え、当院研修センターにてICLSコースが実施されました。ICLSコースとは医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。朝から夕方まで実際に即したシミュレーションを3グループに分かれ繰り返し行い、汗だくで脱水状態、ちょっと筋肉痛にもなっていました。研修の後は実技テストがあり、1回で合格できたものの、いつもの実践とは違った緊張感がありました。ICLSは“より命に直結しかつ緊急性”があります。今回の研修では、技術の細かい点について再確認をすることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。また声をかけ合いながら一生懸命行っているメンバーの姿を見て、改めてチーム医療のすごさを実感しました。この経験を後輩の育成指導に活かしていけるように、日々スキルアップしていきたいと思っています。

神奈川・秦野ICLSコースを受講して

6病棟 北岡 琴美

今回はじめて7月26日の神奈川・秦野ICLSコースに参加させていただきました。突然の心肺停止に対する最初の10分間のチーム蘇生を学ばせてもらうということで1日かけた研修でした。

午前中は基本的なBLS、AEDをシミュレーション形式で学ぶことが出来ました。自分が1年目の時に院内であった急変時対応の研修の時とは内容や用語の使い方に変わっており、新しい情報としての学びもあって良かったです。また、午後にあったICLSの講義もシミュレーション形式の実技がメインであり、チーム蘇生ではメンバー1人ひとりが確かな知識や技術を身につけていなければならない、1人が欠けても救急蘇生は円滑に行われないということを実感しました。

自分は看護師3年目で病棟に勤務していますが急変の場面は1回のみであり、今回改めて神奈川・秦野ICLSコースを受講することで普段なかなか学ぶことができないことを教わることができ、自分にとってとても充実した研修となりました。この学びを今後活かしていきたいです。



看護師募集

～ホームページも是非ご覧下さい～

<http://www.hosp.go.jp/~kanagawa/>

国立病院機構神奈川病院 ☎0463-81-1771 (代表) 看護部長室(内線)8700 管理課(内線)2121

地域医療機関 紹介



さだもとクリニック

院長名 定本 貴明
診療科目 内科、消化器科、リウマチ科、
アレルギー科、小児科
所在地 神奈川県中郡二宮町821-10
電話番号 0463-72-5737

診療時間	月	火	水	木	金	土
AM9:00~12:30	○	○	○	○	○	9:00~13:00
PM3:00~6:30	○	○	休	○	○	休

休診日：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

※尚、リウマチ科診療：木曜午後6:00～、第2土曜

神奈川病院を退職し、長寿の里「二宮」に開院して、5年半以上経ちました。

開院前は内科医長として、4年半勤務していました。その頃も、ご高齢な患者さんは多かったのですが、現在の二宮は、それ以上に高齢な方が多いと感じてい

ます。もともと広い範囲のプライマリ・ケアを目指していたため、内科のみでなく、小児やアレルギー、リウマチ（妻が診療）などの患者さんを診察しており、幅広い年齢層の方が来院してくれます。昼休みには往診・在宅診療もしており、胃ろう交換や気管カニューレ交換、終末期医療も行っております。医師会の仕事も多くなり、身体的には50歳半ばを過ぎ、年を感じることもありますが、地域医療に貢献したい気持ちで開業しましたので、頑張れる間は、自分の目指す医療を続けるつもりです。専門である消化器の内視鏡や超音波検査は、朝8時過ぎより施行し、その後の一般診療に差し支えないように心掛けております。

神奈川病院の先生方も、当時よりだいぶ異動されましたが、以前同様に、地域連携室を通して、いつも患者さんの紹介を快く受け入れていただき、大変感謝しております。私の患者さんでも、老老介護の家庭も多いため、入院が必要な場合など、いつもお世話になっております。二宮からは、一見遠いようですが、紹介した患者さんからは、大変良くしていただいたと感謝されております。今後とも、職員の皆様方のご健勝をお祈りいたしますとともに、病診連携がうまく機能し、地域の中核病院として益々発展されることを期待しております。

8月24日(月) 第5回地域医療連携懇話会を開催

地域医療連携室

秦野伊勢原地域における医療連携の一層の促進を目指し、地域の開業医、老人保健施設、訪問看護ステーションの職員等と当院職員とによる地域医療連携懇話会が研修センターで開催されました。

冒頭、市末寄院長から日頃の患者紹介や逆紹介患者の受入について感謝の意が表され、平成17年からこれまでの当院の取り組み等についての説明、地域医療支援病院の申請を行っていること、共同診療病床の利用促進等についての話がなされました。

その後、地域医療支援病院、病床の共同利用の方法、胃ろうの造設、迅速検査の開始等について担当職員から説明を行った後、質疑応答・意見交換を行いました。

今後も症例検討会等の開催を通じて一層の地域連携を深めることとなりました。



第8回市民公開講座が開催されました

7月30日当院研修センターにおいて、多くの市民の方の参加のもと開催されました。

当日は、「メタボリックシンドロームの治療と予防について」の講演及び個別の医療相談、薬剤相談、栄養相談及び、運動相談を行い、参加者の方々から好評を得ました。

市民公開講座を終えて

統括診療部長 前島 潔

今回はメタボリックシンドロームをテーマにしました。メタボリックシンドロームは平成17年に提唱され、以後メタボと呼ばれ広く浸透していきました。内臓脂肪量の簡易測定の指標として腹囲を用い、それに高血圧、高血糖、脂質異常の生活習慣病の有無を基準にしています。これをうけて昨年4月より特定健診が施行されるようになりました。これはメタボリックシンドロームの予備軍に対する予防に重点を置いて、生活習慣病が原因となる心筋梗塞や脳梗塞などの心血管病を減らすことを目的の一つとしています。しかし従来の市民健診と異なり健康保険組合が管理していることや検査項目が少ないこと、メタボ健診とも言われているため痩せているので受けなくてもいいと思っている人などの理由で受診率が低いのが現状です。積極的に受診されることをお勧めします。今回も多くの方々に参加して頂きありがとうございました。当院では今後も皆様に関心のあるテーマで市民公開講座を開催していく予定ですので宜しくお願い申し上げます。



ちゃんと食べてますか？

栄養管理室長 野口 一彦

今回は限られた時間の中で大勢の皆様にお話しするという事で、「多様化した食生活の中で基本を見直そう」というテーマでお話しさせていただきました。年代や家族構成で食生活の経験値は様々です。特にものが溢れた現代社会ではスタンダードを見失いがちです。食事を制限するのではなく、食生活を見直すイメージで始めてみてください。



しかし、いろいろな条件により食生活が翻弄され健康にも影響を与えてしまうことも少なくありません。当院では生活習慣病にかかわる栄養食事指導を医師の指示のもとで管理栄養士が実施しています。食生活で気になることがありましたら、主治医へ相談してみてください。

市民公開講座に関して

リハビリテーション科 理学療法士長 齋藤 克美

去る7月30日に当院研修センターにおいて、市民公開講座が開催されました。私は、生活習慣病の運動に関して、病院でさまざまな患者様のトレーニングを指導している立場からかわりました。

最初にこの依頼が来たときに運動についての講義よりも、実際に運動を行っていただくことを考え、誰でも気軽にできる運動として、病院リハビリで、また最近、ダイエットなどでも使用されているセラバンドを使用した体操を行っていただきました。



今回の講座によって、毎日少しでも運動しようとする気持ちが芽生えてくれれば幸いに存じます。

最後に、生活習慣病に関して多くの方々が関心を持っているということが実感でき、また、生活習慣病の予防や治療において、医師や栄養士など他職種との連携、専門性の必要性を考えさせられました。今後もこのような市民公開講座に関して市民の皆様の一助となれるよう努力していきたいと思います。

ICTよりのお知らせ

感染管理認定看護師 大渡 由美子

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスに感染した人が咳やくしゃみをするることによりウイルスが空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。

インフルエンザの症状は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などで、のどの痛み、咳、鼻水などもみられます。気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いことも特徴です。

インフルエンザ予防の基本は、流行前の11月までに予防接種（ワクチン）を受けることが効果的です。予防接種は70～90%の予防効果があり、仮にかかった場合でも症状が軽くすみます。妊婦、高齢者や小さな子供、心臓や肺の慢性疾患患者や気管支喘息を持っている人などは予防接種を受けた方がいいでしょう。

なお、ワクチンには 鶏卵やゼラチンが含まれていますので、アレルギーのある方、子どもの場合は接種前に医師にご相談ください。

日常生活の中でも、インフルエンザを予防する心がけが大切です。①栄養と休養を十分取る ②人ごみを避ける ③適度な温度、湿度を保つ ④外出後に手洗いとうがいをする ⑤マスクを着用する(咳エチケット)の5つを守り、規則正しい生活を送りましょう。

ICT（INFECTION CONTROL TEAM）は、医療にかかわるすべての人々を感染から守る実動部隊です。神奈川病院と地域の方々をインフルエンザから守るため、これからも活動を行っていきます。



重心病棟花火大会

療育指導室長 須田 美智男

8月25日毎年恒例の重心病棟花火大会が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、秦野市東婦人会の皆様による「秦野たばこ音頭」などのおどりと神奈川病院歌劇団？の応援パフォーマンスが披露された後、趣向を凝らした花火大会が行われ大いに盛りあがりました。

患者様、ご家族、職員が一緒になって大いに楽しめた一夜となりました。



神奈川病院歌劇団？の応援パフォーマンス



楽しい花火

「重症心身障害児・者病棟って？」

療育指導室

主任児童指導員 上西 修一

神奈川病院の第7・8病棟は、重症心身障害児・者病棟です。二つの病棟に約80人の方が生活をしています。これまでも、神奈川病院だよりにて、重症心身障害児・者病棟の行事や生活の様子など紹介させていただきましたが、病院で花火大会、お祭りのような行事があるのは、「なぜ？」なんて思った方もいたのではないかと思います。今回は、福祉制度などの説明を加え、そんな「なぜ？」について答えたいと思います。

まずは「重症心身障害児・者って？」ということから。重症心身障害児・者とは重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している障害児及び障害者のことになります。次になぜ「重症心身障害児・者の方が神奈川病院に入院をしているの？」ということですが、児童福祉法に重症心身障害児施設は重度の知的障害及び肢体不自由の重複している児童を入所させてこれを保護するとともに、治療及び日常生活の指導をすることを目的とする施設。また、指定医療機関に対し重症心身障害児施設におけると同様な治療を行うことを委託することができる。とあり、神奈川病院は指定医療機関として、委託を受けている病院になり、重症心身障害児・者の方が病棟にて生活をしています。神奈川病院では、長期的と中期・短期的な利用ができます。長期は、生活の場を病院とし、中期・短期は生活の場は家庭にあり、家族の休養などの理由での利用になります。「え、生活？」それは治療の目的ではなく、福祉的な入院になりますので、生活という言葉を使っています。ただし、重症心身障害児・者の方は薬の調整であったり、医療器械を使っているなど何らかの医療を必要としていますので、どこの重症心身障害児施設も医療機関が併設されています。

「どうしたら利用できるの？」利用の条件は、重症心身障害児・者であること。利用相談の窓口として療育指導室が担当しています。利用について、希望また何か分からないこと等ありましたら、療育指導室にご連絡を下さい。他の障害の方は、重症心身障害児・者病棟の利用についてはお断りをさせていただいています。しかし、障害者自立支援法に移行する中で、施設体系が変わったり、相談支援体制が変わったり、見直しがあったりと様々に変化をしていて、分からないことも多く、何をどこに相談に行けばいいのかもわかりずらくなっているなあと感じています。重症心身障害児・者以外のご相談についても、直接的な対応はできないことも多いのですが、相談事業所を紹介したり、他の関係機関と連絡をとったりなど入口を探すお手伝いはできるかと思います。

結局どうということかという。 「神奈川病院には、重い障害児・者が利用している児童福祉法の施設（病棟）があり、そこで生活が営まれている」ということ。生活があるのでそこに楽しみとして、様々な活動・行事などがあり、またボランティアなど人の交流があります。神奈川病院の中にそんな生活の場があることを知ってください。また、当院のホームページも覗いてみてください。そんな目線で、神奈川病院をみると、これまでと違う神奈川病院を感じることもあるかもしれません。

ボランティア募集

国立病院機構神奈川病院では、外来患者さんや入院患者さんの方々が気持ち良く受診や治療が受けられるように、また安心して入院生活が送られるように、暖かい気持ちで、活動していただける方々の参加をお待ちしております。

【活動内容】 外来の案内 病院内の案内 入院患者さんのお話し相手 楽器の演奏・歌・踊り お芝居など

【ボランティア受付】 下田 庶務班長（内線2110） 青井 看護師長（内線 8704）

お気軽にお問い合わせ下さい！

各科診療担当医表

平成21年10月1日現在

科別	曜日	月	火	水	木	金
一般外来	総合内科	野村(秀)	前 島	前 島	前 島	野村(秀)
	腎臓内科		前 島	前 島	前 島	
	循環器内科	亀崎	吉田 9:00~	松崎(秀)	亀崎	野村(秀)
		野村(秀)	田宮 9:00~	藤井 9:00~		
	呼吸器内科	大久保	池村 9:30~	君塚 9:30~	布施川	大久保
	消化器内科					伊 藤 9:00~
	神経内科		紺谷 14:00~ (予約制)			大 友 9:00~
	心療内科			松崎(淳)		松崎(淳) 10/2・10/23 午前・午後 10/9・10/16 午前
	精神科			10/28午後		
	小児科	萬木(晋) 9:00~ 石 井 9:00~ 渡 辺 14:00~ (予約制)	萬木(晋) 午前・午後 (予約制) 島 田 9:00~	野村(伊) 午前・午後 (予約制) 渡 辺 9:00~午後 (予約制)	野村(伊) 午前・午後 (予約制) 四 家 9:00~	萬木(晋) 9:00~ 石 井 9:00~
一般外来	アレルギー科 (小児)	萬木(晋) 渡 辺 14:00~ (予約制)	萬木(晋) 午前・午後 (予約制)	野村(伊) 午前・午後 (予約制) 渡 辺 9:00~午後 (予約制)	野村(伊) 午後 第2・4 予防接種	萬木(晋)
	外科	櫻 井	当番制	当番制	当番制	櫻 井 水 清
	消化器外科	櫻 井	当番制	当番制	当番制	櫻 井 水 清
一般外来	呼吸器外科			加勢田 第2・4水曜日 根 本 第1・3・5水曜日 柿 崎		加勢田 10/9・10/23・10/30 根 本 10/2・10/16 柿 崎
	脳神経外科		齋藤(良)	堀 口 9:30~	市 末 寄	
	整形外科	隅 山 9:00~ 三 宅	三 宅 (装具外来) 山 本 9:00~		隅 山 9:00~ 11:00	小澤 9:00~ 三 宅 14:00~ (予約制)
	泌尿器科		浅 沼 13:30~ (予約制)			田 野 口
	皮膚科			横 内		川 崎
	糖尿病外来			佐 藤 9:00~		
	結核・ 抗酸菌外来		米 丸 第3火曜日のみ 10:00~			
	乳腺外来					鈴木 14:00~ (予約制)
	大腸・ 肛門ヘルニア外来			立 松 第1・3・5水曜日 9:30~		
	小児神経外来 (てんかん外来)	四 家 13:00~ (予約制)	四 家 13:00~ (予約制)		四 家 13:00~ (予約制)	四 家 13:00~ (予約制)
一般外来	小児科 (アレルギー 治療教室)				野 村 渡 辺 14:00~15:00 (予約制)	
	成育心身 医療科			松崎(淳) 10/28午後		松崎(淳) 10/2・10/23 午前・午後 10/9・10/16 午前

※心療内科・松崎(淳)先生は、月毎に変更となるためご確認をお願いいたします。
また、初診・予約外の方は事前にご連絡下さい。



催し案内

～医療者が指導する～ 生き生き健康教室

お年寄りが生き生き暮らすための健康法を病院の医療関係者が直接指導します。

老化予防体操も含めて楽しく実践してみませんか？

日 時：10月8日、11月5日、12月3日

14:00～15:30 全3回

場 所：神奈川病院研修センター

担 当：看護部、栄養管理室、リハビリテーション科

費 用：無 料

問い合わせ：神奈川病院医療連携室

0463-81-1784

●看護師復職支援研修のお知らせ●

～再就職、再学習の支援をします～

日 時：平成21年10月 11月 12月 (毎月2回程度開催)

第1回研修 10月21日(水) 10月30日(金)

場 所：国立病院機構 神奈川病院 研修センター

研修内容：感染管理 採血 点滴の管理 BLSなど

詳しい研修内容はお問い合わせ下さい

対象：未就業看護師、准看護師

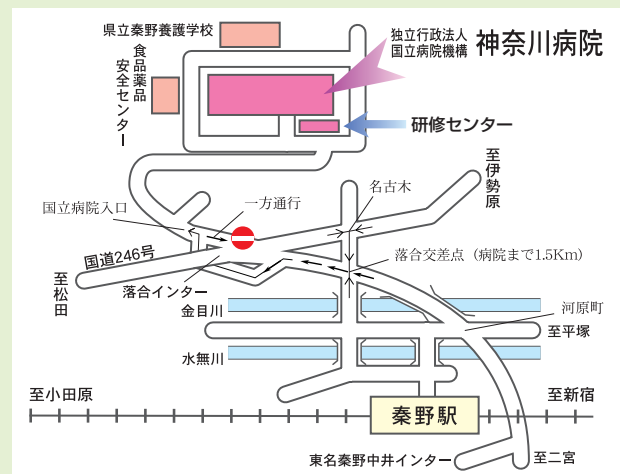
その他 技術・知識を再学習したい既就職者

費用：無料

連絡先：国立病院機構神奈川病院 看護部

教育担当看護師長 0463-81-1771(代)

案 内 図



小田急線「秦野駅」下車神奈川中バス④番乗場「国立神奈川病院」行
終点(所要時間約13分)

※車利用

東名高速道路「秦野中井」より約10分

◎矢印の方向へお進み下さい。●は進入出来ません。

編集担当者

統括責任者：市末 潔

発行責任者：加勢田 静

編集責任者：中村 昌夫

編 集：高橋 渡

杉山 勉

木村 祐子

森 由美子

早瀬 大輔 谷嶋 寿々子

市川 喜代子 片山 朋美

馬場 里佳